

平成20年度第9回牛久市歯科医師会理事会報告書

庶務 宮崎善久

日時：平成21年1月13日 19時30分～21時45分

場所：生涯研修センター2F小会議室にて

出席者：大字、中澤、秋山、森谷、星野、深澤、川崎、兼久、宮崎、(敬称略)

1. 市役所主催義歯回収事業について。(大字先生、森谷先生)

- ・市役所の担当者が大字先生の元へ訪れてきた昨年5月当初は、河内先生が担当窓口となって市役所と折衝しており、先方からの連絡待ちという形で頓挫していた。
- ・現在、市役所の独断で既に事業が進められていて、回収箱も数箇所設置されている状況である。
- ・昨年末から歯科医師会側の担当が森谷先生に変わり、市役所への対応をお願いした。歯科医師会として義歯回収は事業としての不透明さ、回収業者のうたい文句の不誠実さ(入れ歯1個で毛布なら8枚が援助できる等)から推奨することは出来ない、市役所の責任において事業を進めてもらいたい旨伝えた。

2. 牛久市歯科医師会ホームページ立ち上げチームについて。(大字先生より)

担当部署 渉外分科会

- ・各分科会からの協力担当者を含めて5名のチームを形成した。
- ・渉外分科会より大字先生、飯島先生、宮崎の3名で一般向けと渉外分科会のページを担当、学術・社保分科会より長江先生、地域・介護分科会より川崎先生がそれぞれの分科会のページを担当し骨格を形成する事とした。
- ・内容については、各分科会にて作成した掲載データや写真等を、骨格形成したホームページ上へ更新をお願いして、会員共有のデータとして蓄積する場としてホームページを活用する。

3. 市役所検診の標準化について。

担当部署 学術・社保分科会

- ・フッ素塗布の効果についてもまちまちの意見があるが、検診時市民への説明にはある程度の意見統一は必要ではないか。
- ・標準化の参考になる冊子を決めて、ホームページも利用しながら会員へ伝達してはどうか。
- ・標準化と言っても各先生方の意見をしぼるものではなく、ガイドラインに沿った最低限の意見統一を。
- ・本や書類の配布で会員全員への統一を図るのは難しいのでは。
- ・ホームページを活用しながら、問題事項を掲載してゆく過程にて標準化へ繋げてはどうか。
- ・学術分科会を中心にテーマを決めて、フッ素、サフォライド、上唇小帯、指しゃぶり等を順番に取り上げていってはどうか。
- ・新入会の先生方には標準化資料があれば、検診事業への導入がやりやすいのでは。
- ・学術分科会が中心になりとりあえず2つぐらいのテーマを絞ってたたき台を作成することになった。

4. 牛久市内未入会歯科医院への情報提供について。

担当部署 渉外分科会

- ・新規開業する歯科医院の情報をどのように収集するか、現在未入会勧誘するかどうか、数ヶ月のお試し期間の扱いなど難しい点はあるが、詳細は渉外分科会の担当事業とし、それをたたき台として理事会で検討することとなった。

5. その他

- ・事業充実のため来年度の分科会の予算増額を検討します。各分科会とも次年度の事業計画と予算請求の作成にとりかかってください。
- ・自宅診療所併設の歯科医院へ休日診療を求めてきた患者さんへは、歯科医師会会員の休日診療している先生方へ紹介を検討したい。(できれば診療所の掲示板等へ休日診療する歯科医院の情報を掲載してはどうか。)